

次世代 HERO

Next Generation's Hero

青少年読書感想文全国コンクール入選
日中韓子ども童話交流2024 招待生

安岡小学校 6年

しんない とう こ
新内 橙子 さん



▶動画



▶絵本

日 本・中国・韓国の小学生約100人が童話絵本を通して1週間交流する中で、友好の輪を広げる「日中韓子ども童話交流2024」。今回は、この交流会に参加した新内橙子さんを紹介します。

交流会に参加できたのは「青少年読書感想文・感想画全国コンクール」で入選を果たし、その中から選抜された34人。主催者から招待を受け、期待を胸に参加した新内さんは、さまざま

な活動を通して、異文化理解や仲間との友情を深めます。日中韓のグループで絵本を創作した際には「私は3年間、台湾に住んでいたので中国語の通訳も手伝いました。韓国の友達ともジェスチャーで気持ちを伝えられてうれしかった」と1年前の夏を振り返ります。

最高だった夏の記憶は、今も色あせません。交流のツールになった中国語や二胡の練習を毎週続け、将来を見据えて努力を重ねているそうです。



二胡の演奏を披露する新内さん



絵本作り



新章突入！ 下関市立大学 未来への一步



市長コラム
希望の風
市長の部屋

埋まった体育館の新鮮でエネルギー溢るような景色に、私は感動しました。志願者も多く、志願倍率は全国でトップクラスと、多くの学生の注目を集めています。

この大学で学んだ若者たちが世界中で活躍している姿を思い浮かべると、それだけでなんだか明るい未来を想像してしまう。私は、単純すぎるでしょうか。皆さんぜひこれからも、応援をよろしくお願いします。

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。下関市立大学の存在はもちろん知っていただけていると思いますが、今、市立大学が大いに盛り上がっていることは、ご存じでしょうか？

8年前に私が市長に就任した際、「市立大学を総合大学に」という公約を掲げました。少子化問題や都市間競争に打ち勝つため、学生から目標とされ「選ばれる」大学に成長しなければ、下関の未来は厳しいものになると考えたからです。

総合大学を目指す。つまり、約70年間経済学部一つで歩んできた単科大学に、新たに学部を増設し、大学を大きくすることを目標にしたわけです。

その後、さまざまな議論を重ね、議会をはじめ多くの方のご理解ご協力を頂き、令和6年に「データサイエンス学部」を、そして今年「看護学部」をスタートさせることができました。新たに82人の看護学部生を迎えての入学式。人でいっぱいになり、